

EYEPIPE

22-15-1-1

作業区分
MsuptGui
図面表示/出力

概要
Summary

Ver.
10.20

1. 概要

ここではモデル入力プログラムMroutで入力した配管サポートモデルを一覧表示、レイヤ設定、図面出力、DXF/DWG出力するプログラムMsuptGuiについて説明します。

MsuptGuiはランチャまたはEYECAD TOP画面から「配管サポート製作図」を選択すると起動します。

MsuptGuiでサポート図面リストを選択し図面編集でSuptEditGuiが起動しサポート図面を表示します。

1-1. MsuptGui画面

1. アプリケーションボタン

2. クイックアクセスツール

3. カスタマイズボタン

4. タブ

5. リボン

No.	R...	JOB区分	未/済	サポート配置No.	固定部	エリ...	番号	番号付加文字	スタイル	部材ポイン...	配管接続数	サポート...	コメント	製作数	本体重量	外表面積	スケ...
1	9	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		F-1:吊下げ逆L型	3	1	Default		1	7.30	0.31	自動
2	6	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		F-1:吊下げ逆L型	3	1	Default		1	3.46	0.16	自動
3	12	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:門型一段	4	1	Default		1	14.98	0.63	自動
4	13	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:門型一段	4	1	Default		1	14.98	0.63	自動
5	11	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:門型一段	4	1	Default		1	7.98	0.36	自動
6	10	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:門型一段	4	1	Default		1	7.98	0.36	自動
7	7	Train	-	2012-0517-3	2012	0517	3		PIPE RACK:パイプ...	2	1	Default		1	0.00	0.00	自動
8	8	Train	-	2012-7776-101	2012	7776	101		PIPE RACK:パイプ...	2	1	Default		1	0.00	0.00	自動
9	65	DEMO	-	PS-RACK-1001	PS	RACK	1001		PIPE RACK:パイプ...	2	11	Default	コメント最大角30文字	1	0.00	0.00	自動
10	66	DEMO	-	PS-RACK-1002	PS	RACK	1002		PIPE RACK:パイプ...	2	10	Default		1	0.00	0.00	自動
11	85	DEMO	-	PS-RACK-1003	PS	RACK	1003		PIPE RACK:パイプ...	2	10	Default		1	0.00	0.00	自動
12	46	Plant	-	PS-1FL-1001	PS	1FL	1001		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	4.05	0.19	自動
13	47	Plant	-	PS-1FL-1002	PS	1FL	1002		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	4.05	0.19	自動
14	48	Plant	-	PS-1FL-1003	PS	1FL	1003		D-1:吊下げ門型一段	4	1	Default		1	29.01	1.21	自動
15	49	Plant	-	PS-1FL-1004	PS	1FL	1004		H-2:吊下げL型	3	1	Default		1	2.86	0.13	自動
16	50	Plant	-	PS-1FL-1005	PS	1FL	1005		H-2:吊下げL型	3	1	Default		1	7.03	0.31	自動
17	60	Plant	-	PS-1FL-1006	PS	1FL	1006		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	3.61	0.18	自動
18	61	Plant	-	PS-1FL-1007	PS	1FL	1007		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	3.61	0.18	自動
19	62	Plant	-	PS-1FL-1008	PS	1FL	1008		J-1:T型	4	1	Default		1	32.73	1.00	自動
20	63	Plant	-	PS-1FL-1009	PS	1FL	1009		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	2.86	0.14	自動
21	64	Plant	-	PS-1FL-1010	PS	1FL	1010		H-1:片柱-反転	3	1	Default		1	2.86	0.14	自動

6. 配管サポート図リスト

1-2. SuptEditGui画面

1. アプリケーションボタン

3. カスタマイズボタン

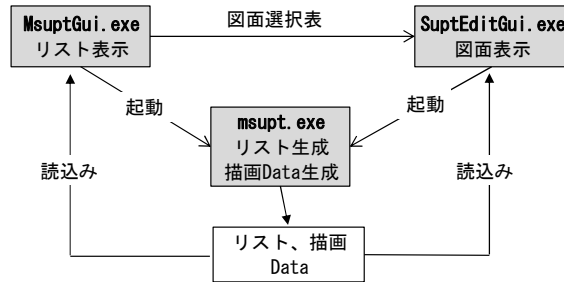
5. リボン

7 配管サポート図面

スタイル: C-1

製作数	1	本体重量	7.98kg	外表面積	0.36	図番	NO	図名	2012-1001-3
承認	Intergraph	3	川上 孝	12.02.20	PP	GM	Intergraph	111E	x0の履歴表印刷
設計	Intergraph	2	E 敬	12.02.19	PP	GM	Intergraph	111E	パイプ架台の履歴表印刷
校閲	PP	1	川上 孝	12.02.10	PP	GM	Intergraph	111E	DESUPPT-TEST
承認年月日	12.02.05	12	孝	年月日	署名	1	署名	2	署名

配管サポート図リストで図面を選択（複数化）し
リボンの“図面編集”ボタンで左図の画面が現れ
サポート図面を表示することができます。



EYEP I P E

22-15-1-2

作業区分	概要 Summary	Ver.
MsuptGui 図面表示/出力		10.20

1-3. 画面説明

No.	画面名称	表示画面	説明
1	アプリケーション ボタン		このボタンを押すとメニューが表示されます。 アプリケーション全体に対する機能（開く、終了、Ver. 情報表示など）が選択できます
2	クイックアクセス Tool Barボタン		よく使う機能をTool Barボタンとして登録したものを表示します。 Tool Barボタンは3. カスタマイズボタンから登録可能です。
3	カスタマイズボタン		カスタマイズボタンを押すと左記メニューが表示されます。 画面のカスタマイズが可能です。 その他のコマンド...でカスタマイズDialog（下図）が表示されます。 リボンの下に表示でTool Barボタンをリボンの下に表示します。 リボンの最小化でリボンを非表示にします。
4	タブ		リボン上部に表示されるそのリボンを代表するグループ名をタブと呼びます。 リボン非表示にしたときにはこのタブが表示され、タブをクリックするとリボンが表示されます。 MsuptGui/SuptEditGuiでは"ホーム"タブのみとなります。
5	リボン		各サポート図に対する操作（コマンド）をコマンド別にグループ化し、簡単にこれらのコマンドにアクセスできるように表示できるようにしたものをリボンと呼びます。
6	配管サポート図 リスト		配管サポート図の一覧が表示されます。1行が1図面に相当します ここでサポート図を選択して図面表示、レイヤ設定、印刷出力などができます。
7	配管サポート図 画面		配管サポート図画面表示されます。 V6.92では表示のみで編集機能はありません

カスタマイズDialog

クイックアクセスTool Barボタンに表示するボタンを選択できます。

"コマンドの選択(C)"からリストを選択するとそのカテゴリのコマンドが"コマンド(O)"に一覧表示されます。

ここでコマンドを選択して"追加(A)>>"ボタンを押すと右にそのコマンドが表示されます。

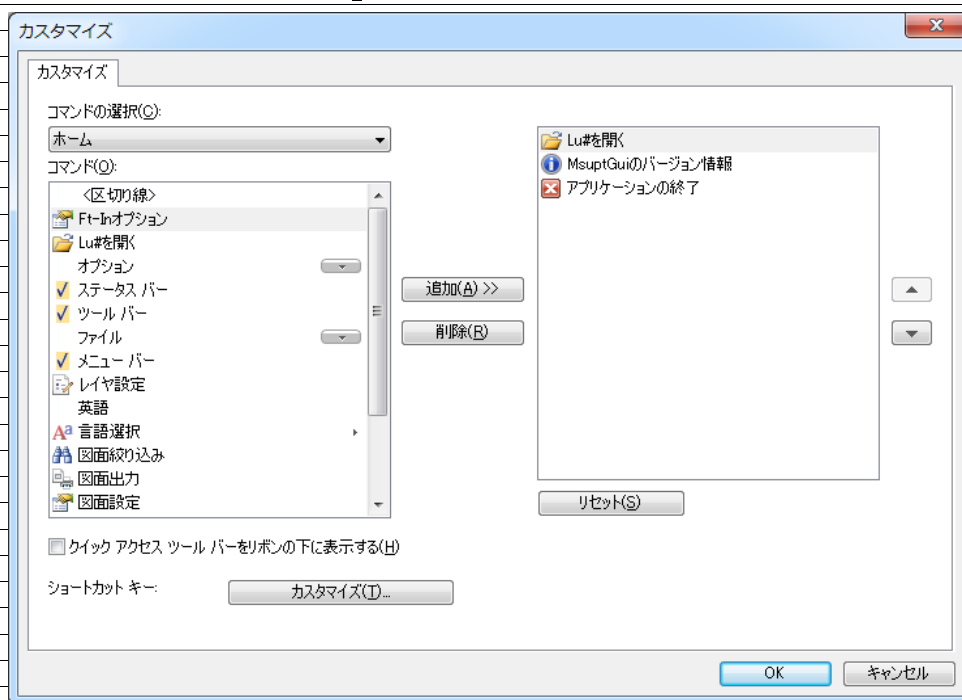
右側のリストがクイックアクセスTool Barボタンに現れます。

▲▼ボタンで順番の変更、"リセット(S)"ボタンで最初の状態に戻すことが可能です。

クイックアクセスTool Barをリボンの下に表示にチェックを入れるとリボンの下に

Tool Barボタンが表示されます。

ショートカットキーはカスタマイズ(I)で変更可能です。



E Y E P I P E

22-15-1-3

作業区分	MsuptGui機能説明 MsuptGui Function	Ver.
MsuptGui 図面表示/出力		10.20

2. 機能説明

2-1. 基本操作と画面

(1) Luを開く

起動時と“Luを開く”ボタンでプラント選択Dialogが表示されます。Lu#入力でOKまたは詳細ボタンでLu#指定Dialogから選択でLu内の配管サポート図がリストに現れます。

(2) 終了

画面右上の×ボタンまたはアプリケーションボタンをクリックして“アプリケーションの終了”で終了確認Dialogが現れるので“はい(Y)”ボタンで終了します。



(3) 選択

配管サポート図に対する操作、例えば画面表示や印刷、レイヤ設定の変更などする場合、まずリストから対象となる配管サポート図を選択する必要があります。

リスト上でマウス左ボタンClickすると1つの配管サポート図が選択されその行が強調表示されます。

さらにSHIFTキー+マウス左ボタンClickで最初を選択した配管サポート図からClickした位置までの全てが選択され強調表示されます。

CTRLキー+マウス左ボタンClickするとその行だけが追加選択されます。選択済の行の場合選択解除されます。

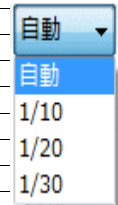
(4) リスト項目

リスト項目は下図の通りです。各項目の説明は“(5) リスト項目説明”を参照してください。

各項目のヘッダをクリックするとその項目でソートされます。

“スケール”はリスト選択してさらにその項目上をクリックするとスケールが自動、1/10、1/20、1/30から選択可能です。

“出力File名”はリスト選択してさらにその項目上をクリックすると直接編集可能です。



No.	Rec#	JOB区分	未済	サポート配置No.	固定部	エリア部	運番部	運番付加文字	スタイル	部材ポイント数	配管接続数	サポートクラス	コメント	製作数	本体重量	外表面積	スケール	レイヤセット	任意文字	任意図形	出力ファイル名
1	9	Train	-	2012-1001-3	2012	1001								1	0.31	0.00	自動	-			2012-1001-3
2	6	Train	-	2012-1001-3	2012	1001								1	0.16	0.00	自動	-			2012-1001-3
3	12	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:円型...	4	1	Default		1	14.98	0.63	自動	-			2012-1001-3
4	13	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:円型...	4	1	Default		1	14.98	0.63	自動	-			2012-1001-3
5	11	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:円型...	4	1	Default		1	7.98	0.36	自動	-			2012-1001-3
6	10	Train	-	2012-1001-3	2012	1001	3		C-1:円型...	4	1	Default		1	7.98	0.36	自動	-			2012-1001-3
7	7	Train	-	2012-0517-3	2012	0517	3		PIPE RAC...	2	1	Default		1	0.00	0.00	自動	-			2012-0517-3
8	8	Train	-	2012-7776-101	2012	7776	101		PIPE RAC...	2	1	Default		1	0.00	0.00	自動	-			2012-7776-101
9	65	DEMO	-	PS-RACK-1001	PS	RACK	1		PIPE RAC...	2	10	Default		1	0.00	0.00	自動	-			PS-RACK-1001
10	66	DEMO	-	PS-RACK-1002	PS	RACK	1002		PIPE RAC...	2	10	Default		1	0.00	0.00	自動	-			PS-RACK-1002
11	85	DEMO	-	PS-RACK-1003	PS	RACK	1003		PIPE RAC...	2	10	Default		1	0.00	0.00	自動	-			PS-RACK-1003
12	46	Plant	-	PS-1FL-1001	PS	1FL	1001		H-1:片柱...	3	1	Default		1	4.05	0.19	自動	-			PS-1FL-1001
13	47	Plant	-	PS-1FL-1002	PS	1FL	1002		H-1:片柱...	3	1	Default		1	4.05	0.19	自動	-			PS-1FL-1002
14	48	Plant	-	PS-1FL-1003	PS	1FL	1003		D-1:吊下...	4	1	Default		1	29.01	1.21	自動	-			PS-1FL-1003
15	49	Plant	-	PS-1FL-1004	PS	1FL	1004		H-2:吊下...	3	1	Default		1	2.86	0.13	自動	-			PS-1FL-1004

EYEPIPE

22-15-1-4

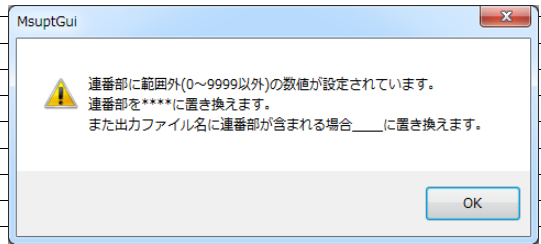
作業区分	MsuptGui機能説明 MsuptGui Function	Ver.
MsuptGui 図面表示/出力		10.20

(5) リスト項目説明

No.	リスト項目	説明
1	No	番号
2	Rec#	JSUPRT-Rec#
3	JOB区分	JOB区分
4	未/済	編集済フラグ
5	サポート配置No	サポートレイヤ設定37. で設定されたサポート配置No.
6	固定部	モデル入力の配管サポート"固定部"プロパティで設定された文字列
7	エリア部	" " "エリア部" " "
8	連番部	" " "連番部" " 数値 (0~9999)
9	連番付加文字	" " "連番付加文字" " "連番部"の前もしくは後ろに設定可能な付加文字 (ANK2文字)
10	スタイル	モデル入力時に選択したサポートスタイル
11	部材ポイント数	部材ポイント数
12	接続配管数	接続する (ファスナ固定されている) 配管の数
13	サポートクラス	モデル入力の配管サポート"サポートクラス"で選択されたサポートクラス
14	コメント	"サポートコメント"で設定された文字列 (ANK60文字)
15	製作数	同一配管上の同一サポート(スタイル、部材、ファスナ、固定部)は、リスト上で同一行に纏め、製作数にその数を表示します。
16	本体重量	本体重量 (kg)
17	外表面積	外表面積 (m2)
18	スケール	図面のスケールで自動、1/10、1/20、1/30のいずれか
19	レイヤセット	サポート図に設定されたレイヤセット名
20	任意文字	任意文字有無 (有のとき、"有"を表示)
21	任意図形	任意図形有無 (有のとき、"有"を表示)
22	出力File名	DXF/DWG出力する際の出力File名。出力時同名Fileが存在する場合、末尾に(1)、(2)、(3)が追加されます。

注意事項

- *1 連番部は範囲外(0~9999以外)の数値が設定されていると****と表記します。
1つでも****があると右記Dialogが起動時に一度だけ表示されます。
- *2 出力File名はデフォルトでサポート配置No.と同じですが、
File名使用不可文字が含まれると、その文字は'_' (アンダーバー)に
置き換えられます。



(6) リスト項目の絞込み

配管サポート図リストの表示を条件で絞り込むことが可能です

2-2. MsuptGui操作メニュー

リボンメニュー	説明	参照	
ホーム	リボン非表示のときこのタブをクリックするとリボンが現れます		
ファイル	Luを開く	Luを開きます。指定Luを開くとLu内の配管サポート図がリストに一覧表示されます。	3-1
	図面出力	リストで選択した配管サポート図を印刷もしくはDXF/DWG Fileに出力します。	3-2
	リスト出力	サポート図一覧リストを出力します。(l_sptdwg)	3-14
編集	図面編集	リストで選択した配管サポート図を別Windowで表示します。	3-3
	レイヤ設定	" " のレイヤ設定を行います。	3-4
	図面設定	" " のスケールなど図面設定を行います。	3-5
	全図面選択	配管サポート図リストを全て選択します。	3-6
表示	メニューバー	チェックボックスのOn/Offでメニューバーの表示/非表示を切り替えます	3-7
	ツールバー	" " ツールバー	3-8
	ステータスバー	" " ステータスバー	3-9
	大きいアイコン	" " 大きいアイコンに切り替え	-
	Ft-In設定	このLuのFeet-Inches表示設定を行います。	3-10
オプション	絞込み	リストの表示を条件で絞り込むことが出来ます。	3-11
	編集マージ	編集した図面データを別Luに統合します。	3-12

3. 操作方法

- 3-1. Luを開く
 - 2-1. 基本操作 (1) Luを開くを参照してください。
- 3-2. 図面出力
 - 配管サポート図リストで選択 (複数可) した図面をプリンタに印刷
またはDXF/DWG Fileに出力します。
 - リスト選択後、"図面出力"で右図のDialogが現れます。
 - 出力形式やバージョンなど選択しOKで出力します。



No.	出力形式	バージョン	説明
1	13: LBP (Laser Beam Printer)	-	OKで印刷設定Dialogが現れます。 出力先を選択してプリンタで印刷します。
2	20: Layerd DXF Format	20: Layered DXF/21: Layered DWG共通	出力File名選択時、"出力File名"で、
3	21: Layerd DWG Format	以下から選択可能です R11 and R12 R27 (2013) release R15 (2000) release R32 (2018) release R18 (2004) release R21 (2007) release R24 (2010) release	自動設定の場合、Edit設定文字 (ANK2文字)+連番で、 拡張子(. dxfまたは. dwg)をつけてFile出力します。 出力先はLu Folderの下のDXF Folderとなります。 . dwgもDXF Folderに作成されます。ご注意ください。

EYA (Mprint表示用)、mi、DXF (Polyline) 形式で出力する場合は旧Gui、DOS版msuptから出力してください。22-14-2-1参照

EYEPIPE

22-15-1-7

作業区分

MsuptGui
図面表示/出力

MsuptGui機能説明
MsuptGui Function

Ver.

10.20

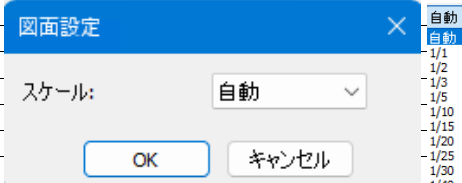
3-5. 図面設定

図面設定では、複数の図面のスケールをまとめて変更ができます。

図面リストを選択し「図面設定」で以下のDialogが現れます。

スケールを選択してOKで選択図面のスケールをまとめて変更できます。

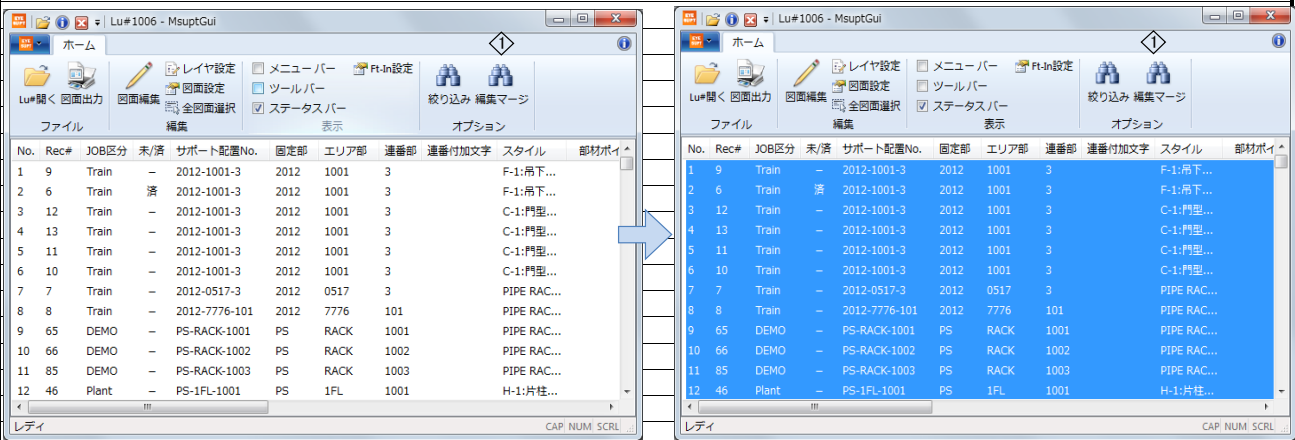
◇ スケールは自動、1/1、1/2、1/3、1/5、1/10、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/100から選択可能です。



自動 DXF/DWG出力用に図面に収まらないスケールも用意しました。
 自動 スケールによっては画面に何も現れない場合もあります。
 1/1 そのような場合スケールを小さくしてください。
 1/2 また通り芯、高さは現在の紙面の隙間に描画するような仕組みなので物体が
 1/3 画面に収まらない場合、正しく描画できません。レイヤをOFFにしてください。
 1/5 「自動」を選択すると用紙内に収まる最大スケールとなります。
 1/10
 1/15
 1/20
 1/25
 1/30
 1/40
 1/50
 1/60
 1/100

3-6. 全図面選択

全図面を選択します。



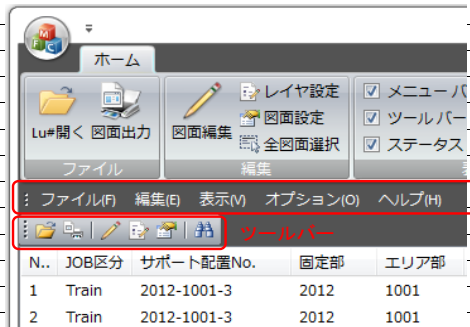
3-7. メニューバー

3-8. Tool Bar

チェックボタンをOnにすると現れます。

従来のプルダウンメニューまたはTool Barボタンで機能の選択が可能です。

メニューバーやTool Barで選択できる機能はリボンからも選択できます。



メニューバー

3-9. ステータスバー

チェックボックスをOnにすると図面リスト下部に現れます。

アプリケーションのメッセージを表示します。

No.	JOB区分	サポート配置No.	固定部	エリア部
19	Plant	PS-1FL-1008	PS	1FL
20	Plant	PS-1FL-1009	PS	1FL
21	Plant	PS-1FL-1010	PS	1FL
22	Plant	PS-2FL-1001	PS	2FL
23	Plant	PS-2FL-1002	PS	2FL
24	Plant	PS-3FL-1001	PS	3FL
25	Plant	PS-3FL-1002	PS	3FL

レディ

ステータスバー

E Y E P I P E

22-15-1-8

作業区分	MsuptGui機能説明 MsuptGui Function	Ver.
MsuptGui 図面表示/出力		8.10

3-10. Ft-In設定

次のFt-In設定Dialogが現れます。

共通設定参照がOnの場合、プラント属性で設定したLu全体のFt-In設定が有効となり、各項目はDisableとなります。

Offの場合設定が有効となりこのこのLuのサポート図のFt-In設定が可能です。

Dialog設定の詳細は02-04-2-2参照してください。

Ft-In設定

併記オプション:

mmのみ Ft-Inのみ

mm(Ft-In)併記 Ft-In(mm)併記

inch表記

分数 小数

区切り文字

最小単位 x/2 x/4 x/8 x/16 x/32

小数点 なし 1位 2位 3位

2ft以下はinch表示 -(ハイフン)を省略

*(inch記号)を省略

モデル入力:

配管"並べる"の丸め単位 なし 1/2" 1/4"

共通設定参照

OK キャンセル

3-11. 絞り込み機能

次のDialogが現れます。

表示したい図面のJOB区分と固定部、エリア部、連番号にチェックすることでリストを絞り込むことができます。

条件を設定してOKボタンでリストが絞り込まれます。

絞り込み

JOB区分

サポート配置No.

エリア部

連番号

JOB区分: J1, J2, J3, J4, 全て

サポート配置No.: 固定部, IUCA, IUCB, IUCC, IUCD, IUCE, IUCF, IUCG, IUCH, 全て

エリア部: 2011, 2012, 全て

連番号: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 全て

OK キャンセル

◇ 3-12. 編集マージ

編集した図面を指定して別編集Luにマージします。(スプール図の編集マージと同様)

本操作は分担編集した図面を統合する場合に用います。

(分担編集と統合の考えは「編集Data併合 15-01-6-1」を参照)

統合したい図面を選択、「編集マージ」ボタンで右のダイアログが表示

統合先のLuを指定して実行します。

※サポートの場合は、モデル編集済で修正が無いことが条件となります。

編集図面にコマ図が含まれる場合、マージ先のコマ図フォルダ(jxx/jstyle)

に同じファイルが存在しないとマージ先の図面にコマ図が現れません。

選択した図面にコマ図が含まれると次の警告画面が現れます。

MsuptGui

⚠ コマ図を含む図面をマージする場合、マージ元とマージ先のコマ図フォルダ(jxx/jstyle)の内容(図形ファイル)は同一にしてください。

OK キャンセル

サポート図編集データマージ

サポート図編集データをマージ(コピー)します。
(既存編集データは上書きされます。)

マージ(コピー)元Lu#: 1006

マージ(コピー)先Lu#:

OK キャンセル

3-13. 注意事項

サポート図レイヤ設定で、サポート配置No. をフラグ9:User定義にし、V6.92で新設されたプラント属性定義(EYESPEC)のUser定義表示様式のサポートタグを設定した場合に、V6.91でサポート材集、l_3dsmを出力すると、プラント属性定義(EYESPEC)で設定したサポート配置No.の情報がクリアされてしまいます。

ここでMsuptGuiを起動するとフラグ9:User定義しているサポート配置No.が空欄となってしまいます。

必ず同じバージョンで作業をしてください。

EYEPIPE

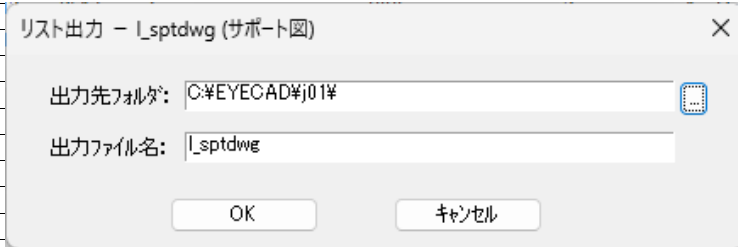
22-15-1-9

作業区分	MsuptGui機能説明 MsuptGui Function	Ver.
MsuptGui 図面表示/出力		10.20

3-14. リスト出力 (l_sptdwg)

メイン画面に表示されている配管サポート図一覧をcsvファイルに出力します。

リスト出力ボタンをクリックすると、出力先フォルダと出力ファイル名を指定するダイアログが表示されますので設定しOKで出力します。



出力例：以下の様式で表示されます。各項目の説明は、22-15-1-4を参照してください。

No.	Rec#	JOB区分	未/済	サポート配置No.	固定部	エリア部	連番部	連番付加文字	スタイル	部材ポイント数	配管接続数	サポートクラス
1	7	SUPT_1	済	PS-2-104	PS		2	104	C-1:門型一段	4	1	Default
2	6	SUPT_1	済	PS-2-105	PS		2	105	C-1:門型一段	4	1	Default
3	8	SUPT_1	済	PS-2-106	PS		2	106	C-1:門型一段	4	1	Default
4	17	SUPT_1	済	PS-2-107	PS		2	107	C-3:門型二段	6	1	Default
5	16	SUPT_1	済	PS-2-108	PS		2	108	C-3:門型二段	6	0	Default
6	65	SUPT_1	済	PS-2-108	PS		2	108	PIPE RACK:パイプラック	2	1	Default
7	40	SUPT_1	済	PS-2-109	PS		2	109	C-1:門型一段	4	2	Default
8	66	SUPT_1	済	PS-2-110	PS		2	110	A-1:水平一本	8	1	Default
9	13	SUPT_1	済	PS-2-112	PS		2	112	C-1:門型一段	4	1	Default
10	12	SUPT_1	済	PS-2-113	PS		2	113	C-1:門型一段	4	1	Default
11	11	SUPT_1	済	PS-2-114	PS		2	114	C-1:門型一段	4	2	Default
12	10	SUPT_1	済	PS-2-115	PS		2	115	C-1:門型一段	4	2	Default
13	9	SUPT_1	済	PS-2-116	PS		2	116	C-1:門型一段	4	2	Default

つづき

コメント	製作数	本体重量	外表面積	スケール	レイヤセット	任意文字	任意図形	出力ファイル名
	1	170.2	3.5	1月10日	-			PS-2-104
	1	170.2	3.5	1月10日	-			PS-2-105
	1	170.2	3.5	1月10日	-			PS-2-106
	1	774.27	15.86	1月10日	-			PS-2-107
	1	909.01	18.63	1月10日	-			PS-2-108
	1	0	0	自動	-			PS-2-108
	1	224.4	4.61	1月10日	-			PS-2-109
	1	785.27	16.1	自動	CNST(S216)			PS-2-110
	1	149.14	3.07	1月10日	-			PS-2-112
	1	149.14	3.07	1月10日	-			PS-2-113
	1	127.43	2.63	1月10日	-			PS-2-114
	1	127.43	2.63	1月10日	-			PS-2-115
	1	127.43	2.63	1月10日	-			PS-2-116

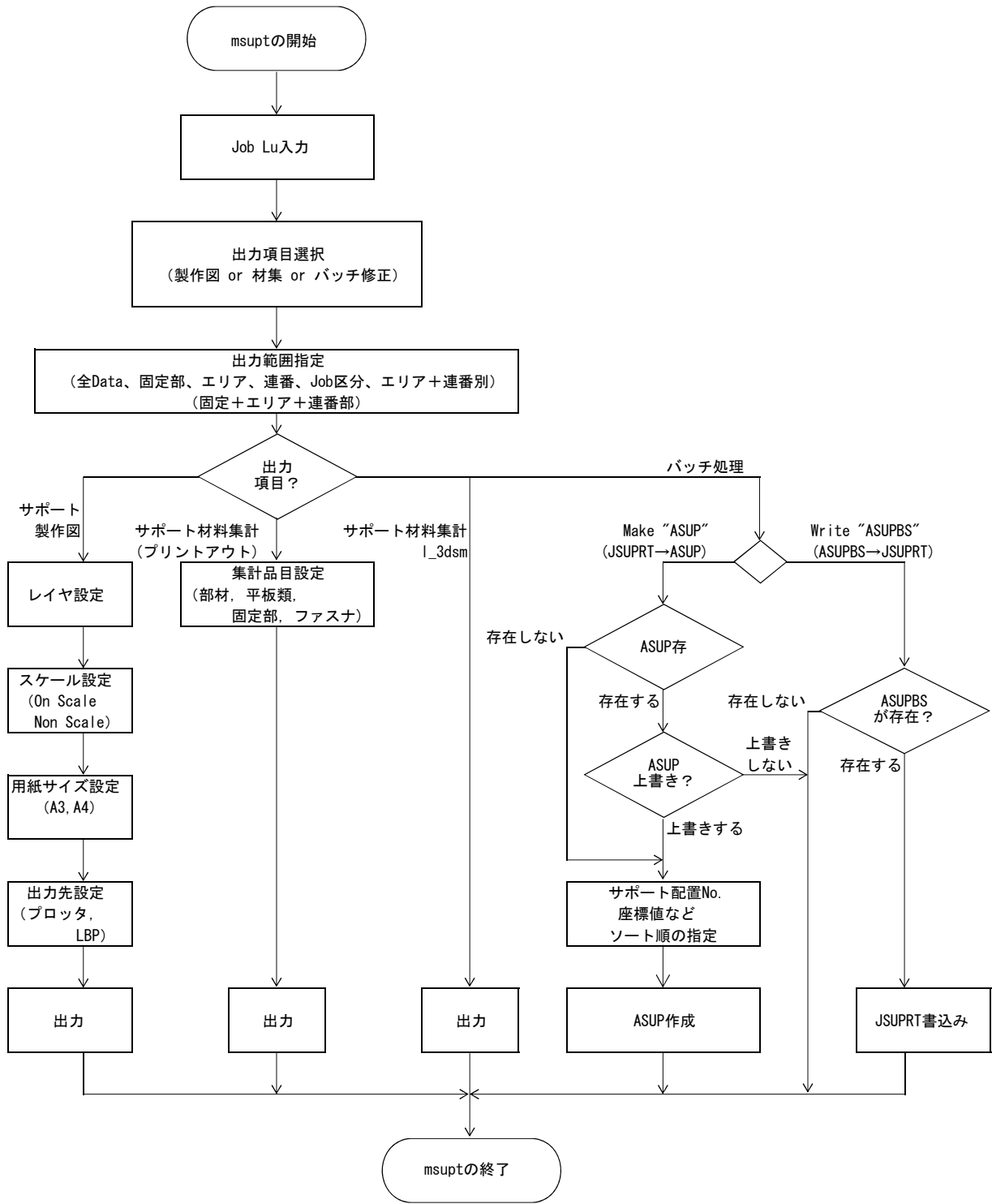
作業区分

DOS版msuptの操作全体フロー
General Flow

Ver.

msupt
図面表示/出力

6.00



作業区分	DOS版 起動方法と出力項目の選択 Starting Process and Output item option	Ver.
msupt 図面表示/出力		6.00

4. 配管サポート製作図、材集を起動し、サポート製作図または、サポート材料集計表を出力するかを選択します。

1) モジュール “配管サポート製作図、材集” を起動します。

2) Job Lu#を入力します。

-- KEY IN pms, piping, support data Lu# (end=0) 18 ↓

0で配管サポート製作図、材集が終了します。

```

Piping Data Lu# :18
-- JRTC MN, JPMSMS, JPMSVA, BG(J) BRNC READ..! --
-- BG(J) FITD, BG(J) FDNA, BGISPC, BG(J) CNST READ..! --
-- BG(J) SUPT READ & JSUPT OPEN..! --
    
```

↑ 入力したLu#のエコーバック

↓ 使用するData Fileの状況出力

3) 出力項目を選択します。

```

*****
*           == OUTPUT MENU ==           *
* No.                                           *
* 1 : Support Fabrication DWG                 *
* 2 : Support Material List(Paper)            *
* 3 : Make "ASUP" <<--- JSUPRT(Piping Support Data) *
* 4 : Write "ASUPBS" ---> JSUPRT(Piping Support Data) *
* 5 : Support Material List(Text) l_3dsm Output *
* 99 : "msupt" end                             *
*****
-- KEY in Menu No. :X ↓
    
```

No.	機能
1	サポート製作図の出力
2	サポート材料集計表の出力
3	Text File (ASUP) への出力
4	ASUPBSからJSUPRTへの書込み…これ以降は22-18-1-1参照
5	Text File (l_3dsm) への出力
99	配管サポート製作図、材集の終了

EYESUPT 配管サポート設計システム

(22-15-2-1)→ 22-15-2-3

作業区分

msupt

図面表示/出力

DOS版 配管サポート製作図 出力範囲の指定 (1/3)
Output Range Set

Ver.

6.00

選択されたJobのLuの中で出力する範囲を指定します。

(22-15-2-2の出力項目で1or2or3or5が選択された時のみ)

1. 出力する範囲の指定方法を選択します。

```

*****
*           ==      Range Menu      ==           *
*   No.                                           *
*   1 : All ( in the Lu# )                       *
*   2 : Select Support Fixed No.                 *
*   3 : Select Support Area No.                  *
*   4 : Select Support Serial No.                *
*   5 : Select Job Division                       *
*   6 : Select Support Area No. & Serial No.     *
*   7 : Select Support Fixed No. & Area & Serial No *
*   99 : msupt End                               *
*****
-- Key in Menu No. :

```

2. Job Lu内の全ての配管サポートに対して出力する場合は、1を入力します。

-- Key in Menu No. :1↓

3. 出力する範囲を固定部で指定する場合は、2を入力します。

-- Key in Menu No. :2↓

登録されている固定番号が出力されます。

```

          === Support Fixed No. ===
    < 1 >   < 2 >   < 3 >   < 4 >   < 5 >
    FIXED-A   FIXED-B   FIXED-C   FIXED-D

*****
* No. of Total Fixed No. : 4           *
*****
-- Key in Fixed No. (end=0,all=-1):

```

1) 表示された固定番号の中から対象となる番号を入力します。

例えば、“FIXED-B”を設定する場合は、2と入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):2↓

2) 1)でいくつかの固定番号を入力した後、指定を終了する場合は、0を入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):0↓

※ 1)で固定番号を入力せず、いきなり0を入力した場合は、msuptを終了します。

3) 全ての固定番号を指定する場合は、-1を入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):-1↓

4. 出力する範囲をエリアで指定する場合は、3を入力します。

-- Key in Menu No. :3↓

登録されているエリア番号が出力されます。

```

          === Support Area No. ===
    < 1 > < 2 > < 3 > < 4 > < 5 > < 6 > < 7 > < 8 >
    AREA-A AREA-B AREA-C AREA-D

*****
* No. of Total Area No. : 4           *
*****
-- Key in Area No. (end=0,all=-1):

```

1) 表示されたエリア番号の中から対象となる番号を入力します。

例えば、“AREA-B”を設定する場合は、2と入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):2↓

2) 1)でいくつかのエリア番号を入力した後、指定を終了する場合は、0を入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):0↓

※ 1)で固定番号を入力せず、いきなり0を入力した場合は、msuptを終了します。

3) 全てのエリア番号を指定する場合は、-1を入力します。

-- Key in No. (end=0,all=-1):-1↓

EYESUPT 配管サポート設計システム		(22-15-2-2)→	22-15-2-4
作業区分	DOS版 配管サポート製作図 出力範囲の指定 (2/3) Output Range Set	Ver.	
msupt 図面表示/出力		6.00	
5. 出力する範囲を連番で指定する場合は、4を入力します。			
-- Key in Menu No. :4↓			
-- Key in From, To Support Serial No. (end=0,0):			
1) Menuに合わせて、サポート連番のFrom-Toを入力します。			
例えば、201番から210番までを設定する場合は、201,210と入力します。			
-- Key in From, To Support Serial No. (end=0,0):201,210↓			
2) 1)でいく通りかの連番From-Toを入力した後、指定を終了する場合は、0,0と入力します。			
-- Key in From, To Support Serial No. (end=0,0):0,0↓			
3) 1)で連番のFrom-Toを入力せず、いきなり0,0を入力した場合は、msuptを終了します。			
6. 出力する範囲をJob区分で指定する場合は、5を入力します。			
-- Key in Menu No. :5↓			
登録されているJob区分が出力されます。			
<pre> < 1> < 2> < 3> < 4> < 5> < 6> < 7> < 8> < 9> <10> job1 job2 job3 job4 job5 job6 job7 job8 job9 job10 <11> <12> <13> <14> <15> <16> <17> <18> <19> <20> job11 job12 job13 job14 job15 job16 job17 ***** * No. of Total Job Division : 17 * ***** -- Key in No. (end=0,all=-1):</pre>			
1) 表示されたJob区分の中から対象となるJob区分を入力します。			
例えば、“job2”を設定する場合は、2と入力します。			
-- Key in No. (end=0,all=-1):2↓			
2) 1)でいくつかのJob区分を入力した後、指定を終了する場合は、0を入力します。			
-- Key in No. (end=0,all=-1):0↓			
※ 1)でJob区分を入力せず、いきなり0を入力した場合は、msuptを終了します。			
3) 全てのJob区分を指定する場合は、-1を入力します。			
-- Key in No. (end=0,all=-1):-1↓			
7. 配管サポートのDataをエリア部と連番部の組み合わせで設定する場合は、6を入力します。			
-- Key in Menu No. :6↓			
1) エリア部のData一覧を表示して、エリア部のNo.を入力します。			
<pre> === Support Area No. === < 1> < 2> < 3> < 4> < 5> 1FA1 1FA2 1FA3 1FA4 2FA ***** * No. of Total Area No. : 5 * ***** -- Key in No. (end=0,All=-1,Display=-99):1↓</pre>			
2) 連番をFrom,Toで入力します。			
-- Key in From,To Support Serial No. (End=0,0):1,5↓			
3) 連番の設定を終了する場合は、0,0を入力します。			
-- Key in From,To Support Serial No. (End=0,0):0,0↓			
4) エリア部の設定を終了する場合は、0を入力します。			
また、別のエリア部・連番部を設定する場合は1)～3)を繰り返します。			
-- Key in No. (end=0,All=-1,Display=-99):0↓終了			

EYESUPT 配管サポート設計システム		(22-15-2-3)→	22-15-2-5
作業区分	DOS版 配管サポート製作図 出力範囲の指定 (3/3)		Ver.
msupt 図面表示/出力	Output Range Set		6.00
8. 配管サポートのDataを固定部と連番部の組み合わせで設定する場合は、7を入力します。			
-- Key in Menu No. :7↓			
1) 固定部のData一覧を表示して、固定部のNo.を入力します。			
<pre> === Support Fixed No. === < 1 > < 2 > < 3 > < 4 > < 5 > FIXED-A FIXED-B FIXED-C FIXED-D ***** * No. of Total Fixed No. : 4 * ***** -- Key in Fixed No. (end=0,all=-1):2↓ </pre>			
2) エリア部のData一覧を表示して、エリア部のNo.を入力します。			
<pre> === Support Area No. === < 1 > < 2 > < 3 > < 4 > < 5 > 1FA1 1FA2 1FA3 1FA4 2FA ***** * No. of Total Area No. : 5 * ***** -- Key in Area No. (end=0,All=-1,Display=-99):1↓ </pre>			
3) 連番をFrom,Toで入力します。			
-- Key in From,To Support Serial No. (End=0,0):1,5↓			
4) 連番の設定を終了する場合は、0.0を入力します。			
-- Key in From,To Support Serial No. (End=0,0):0,0↓			
4) エリア部の設定を終了する場合は、0を入力します。			
また、別のエリア部・連番部を設定する場合は2)~4)を繰り返します。			
-- Key in No. (end=0,All=-1,Display=-99):0↓終了			
9. msuptを終了する場合は、99を入力します。			
-- Key in Menu No. :99↓			
1) これ以降の操作方法は、22-15-2-2の出力項目で			
1-1) サポート製作図の出力			
1-2) サポート材料集計表の出力			
1-3) Text File (ASUP)への出力			
1-4) Text File (I_3dsm)への出力			
を参照して下さい。			

EYESUPT 配管サポート設計システム (22-15-3-1)→ 22-15-2-6

作業区分	DOS版 配管サポート製作図 レイヤ設定, レイヤー一覧 Layer Setting · Layer list	Ver.
msupt 図面表示/出力		6.70

- 1) 配管サポート製作図の出力レイヤを設定します。
- 2) 各レイヤと製作図上との対応は、22-15-2-8を参照して下さい。

1. 設定するレイヤを選択します。

- 1) レイヤの初期値が表示されます。

```

*****
* == Support Fabrication DWG Layer== *
* No. *
* 0 : "msupt" go *
* 1 : Member Total Column Plot <on> *
* 2 : Attachment Detail Column Plot <on> *
* 3 : UB, N Hole-drilling Detail <on> *
* 4 : Support Comment Colimn Plot <on> *
* 5 : North Mark Plot <on> *
* 6 : Plot Direction <off> *
* 11 : Pipe Support Level <EL> *
* 16 : Beneling Mark <on> *
◇ * 21 : Line Mark <on> *
◇ * 22 : Spool No. <on> *
* 23 : Colamn No. Dimension <on> *
* 24 : Support Fix Level <EL> *
* 27 : Weld Mark <off> *
* 28 : U-Bolt, Band Hole Pitch <off> *
* 31 : m3dv Support No. <on> *
* 32 : Support No. <on> *
◇ * 33 : Support Style <on> *
* 37 : Attachment Size <Dim> *
* 39 : Fastener <Dim> *
* 88 : All on *
* 99 : All off *
* 999 : msupt End *
*****
-- Select Layer No. -->
    
```

- 2) レイヤの変更がない、または変更終了の場合は、0を入力します。

-- Select Layer No. --> 0 ↓

この後、22-15-2-7に進みます。

- 3) msuptを終了する場合は、999を入力します。

-- Select Layer No. --> 999 ↓

- 4) レイヤの変更がある時は、22-16-1-1のレイヤー一覧を参照して下さい。

EYESUPT 配管サポート設計システム

(22-15-3-2)→ 22-15-2-7

作業区分	DOS版 配管サポート製作図 スケール/出力用紙サイズ設定 Scale / Output Paper Size Setting	Ver.
msupt 図面表示/出力		6.00

2. 配管サポート製作図の出力スケールを設定します。

1) 配管サポート製作図のスケール値を選択します。

```
*****
* == Plot Scale calculation Type == *
* No.                                *
* 0 : Non Scale ( Auto Scale )      *
* 1 : On Scale ( User Select )      *
* 99 : msupt End                    *
*****

-- Input No. -->
```

2) スケール値を指定しない場合は、0を入力します。(自動スケール)

```
-- Input No. --> 0↓
```

3) スケール値を指定する場合は、1を入力します。

```
-- Input No. --> 1↓
```

4) 指定可能なスケール値を表示します。

```
*****
* 1 : 1/10 Scale                    *
* 2 : 1/20 Scale                    *
* 3 : 1/30 Scale                    *
*****

-- Input No. -->
```

4-1) 表示されたスケール値の中からスケールを指定します。

例えば、“1/20”のスケールを指定する場合は、2を入力します。

```
-- Input No. --> 2↓
```

4-2) 指定されたスケールで製作図が出力されます。

※ 指定したスケール値での表示が紙面に入りきらない場合、自動で Non Scale (Auto Scale)に切り替わり表示されます。

5) msuptを終了する場合は、99を入力します。

```
-- Input No. --> 99↓
```

3. 配管サポート製作図の出力する用紙の大きさを設定します。

1) 製作図の出力用紙サイズを選択します。

```
*****
* == Support Output Mode Type == *
* No.                                *
* 1 : A3 Mode                        *
* 2 : A4 Mode                        *
* 99 : msupt End                    *
*****

-- Input No. -->
```

2) 製作図をA3で出力する場合は、1を入力します。

```
-- Input No. --> 1↓
```

※A3の用紙に、A4の配管サポート製作図2枚分を出力します。

3) 製作図をA4で出力する場合は、2を入力します。

```
-- Input No. --> 2↓
```

※A4の用紙に、A4の配管サポート製作図1枚分を出力します。

4) msuptを終了する場合は、99を入力します。

```
-- Input No. --> 99↓
```

EYESUPT 配管サポート設計システム

(22-15-3-3)→ 22-15-2-8

作業区分	DOS版 配管サポート製作図 出力先設定 Output Devices Setting	Ver.
msupt 図面表示/出力		6.10

4. 配管サポート製作図の出力先を設定します。

1) 製作図の出力先を選択します。

```
//=== Eyecad Output Devices Menu ===//
7 : DXF Format
12 : Hp-Plotter (HP-GL)
13 : LBP ( Laser Beam Printer )
--- Output Devices No. Select ==>
```

2) DXFフォーマットに変換して、他2次元CAD等で編集する場合は、7を入力します。

```
--- Output Devices No. Select ==> 7↓
```

3) DXF出力時のFile名入力選択画面に移ります。

```
*****
* == DXF File Name Input Mode == *
* No. *
* 1 : File name auto *
* 2 : File name input for every sheet *
* 99 : msupt End *
*****
-- Input No. --> _
```

3-1) No.1選択 (File名自動) 時、File名固定部分 (ANK2文字) 入力

```
Set File Name Auto !!
-- DXF File Name (XX0001--XX9999) XX Input
-- Input DXF File Fixed Part Name(max=2) --> _
```

注) File名固定部分 (ANK2文字) が、数字・アルファベット以外の文字の場合、DXF Fileが作成されないことがあります。

3-2) File名入力確認

```
Input Name OK? 1:OK,0:NG --> _
```

4) No.2選択 (1枚毎File名入力) 時、File名入力

```
Set File Name Input For Every Sheet !!
Output Page: 1
< Dwg#: 0> DXF-File Name Input (max:6 Moji) --> _
```

4-1) File名入力確認

```
=====
No. : 0
Dwg# : 0
DXF-File Name: XXXXXX Job Lu# : 999
=====
File Name OK ? (Yes=y, No=n) --> _
```

5) LBP(レーザプリンタ)に出力する場合は、13を入力します。

```
--- Output Devices No. Select ==> 13↓
```

※ EYECAD全体のハード構成により、出力先のMenu表示が異なる場合があります。

5. DXF Fileの補足説明

1) 線幅情報は、PlotConfig.xml Fileの線幅Dataを参照しています。使用ペン番号は以下の通りです。
(線幅を変更して出力したい場合は、PlotConfig.xml Fileを編集して下さい。)

No.	種類	内容
ペン1	細線	文字レイヤの表示文字、引出し線など
ペン2	中線	サポート物体表示
ペン3	種細線	穴明詳細図(右上)内の枠、寸法、引出し線など
ペン4	太線	アタッチメント詳細図(左上)物体表示

2) 線幅情報を優先して持たせる為、線はポリラインとし、線幅情報は持っていません(また、HP-GL 出力図面とピッチなどを合わせる為)。

3) 文字情報は、HP-GL 出力図面と文字幅(ピッチ)などを合わせ、出カイメージを保つ為に、等幅Fontのmonotxt, bigfontで出力されます。

4) レイヤは1階層しかありません。(レイヤ=L111)

その他、基本的にはV6-m3dvのDXFエクスポートで作成されるDXF Fileの仕様と同様です。

【注意】

- 同名のFile(同図番)が存在する場合には、常にFileを上書きしますので注意して下さい。
- また、出力しようとしているFileをAutoCADなどで編集をしていると、書き込み禁止のエラーが発生しプログラムが強制終了されます。他アプリケーションでの編集を終了してから再作成して下さい。